

新中3の皆さんへもう受験勉強始まっているよ!

現中3は公立高校の入試の終わったところ。中2（新中3）の皆さんには、3学期も終わりに近づき、ほっとしているところだと思います。今日は、気が早いですが、1年上の中3が反省している点をご紹介します。

この文章は以前にも何度か書いたものです。もう一度お知らせします。

・定期テストだけじゃなく、実力テストの点数も取っておけばよかった。

ひどい人は、定期テストの5科合計と実力テストの5科合計の差が100点以上の人があります。範囲が広いので準備しても意味がないなどと過ごしていて、入試直前になって慌てて私立校の相談で学校の先生に実力テストの点数で志望校を下げられたりしています。

そのことから言えるのは、春・夏・冬休みや余裕のある時に長い範囲の復習をするべきだと思います。塾では、予習はほどほどが大切だと思っています。しっかりと3年分の知識と理解を定着させておきましょう。入試は、範囲の広い究極の実力テストです。

・私立高校の上のクラスは指定校推薦がないなんて知らなかった。公立高校は、指定校推薦の情報が開示されにくいなんて知らなかった。そもそも指定校推薦って何?

そのことから言えるのは、大学入試も視野に入れた高校選びが必要な時代が来たということになります。3年後、推薦系で大学に行きたいのか?入学試験(一般入試)で大学に行きたいのか?ぐらいは、考えておこう。大学入試を見据えた指導が苦手な(中学生だけが得意)塾の先生は多いようです。

*1 最近、定期テストの得点アップを訴えている塾が多いようですが(そのタイプの塾からの転塾者は、実力テストが弱い人が多い!)3年生以降は、実力テストの得点アップも重要です。

私立・公立含め高校の情報を集めも必要です。その意味で、学校・塾で実力テストのアップ・入試情報に詳しい先生に積極的に質問・指導を受けるようにしていきましょう。

◎とりあえず、話を聞きに来ませんか?特に、第一子の大坂の上位の公立高校出身保護者の方、大阪の入試における高校の勢力図は、私立授業料の無償化が始まってから大きく変わっています。

高校合格がすべてではないと確信している塾屋より